

| | |
|------------------|---|
| Title | 編集後記 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 三田哲學會 |
| Publication year | 1978 |
| Jtitle | 哲學 No.67 (1978. 3) ,p.180- 180 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000067-0180 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「哲学・第67集」をお届けします。前年度刊行の第65集と今年度刊行の第66集で試みられた新しい本誌の体裁と執筆要綱もようやく定着し、今回は大変順調に編集の作業を進めることができました。この間の会員諸兄のご協力に、この場を借りて感謝申しあげる次第です。

* * *

かねてからの念願であった本誌の年2回刊行を、本年度から復活させることができました。その結果、昨年度の10論文に対し、今年度は17論文が掲載されました。会員に、より多くの研究発表の機会を提供するために、今後も本誌の年2回刊行を続けていきたいと思えます。しかし、それを保障する三田哲学会の財政は、決して余裕のあるものではありません。国外での円は高値を続けているようですが、国内の円の価値は年々下がっています。したがって、三田哲学会の大きな収入源の一つである塾からの刊行費補助の増額が望まれるのですが、来年度は逆にそれが大巾に削減される見込みです。もう一つの収入源である会費は2年前に引き上げられたばかりです。補助の増額を強く要求すると同時に、会の運営においても一層の努力をする必要があります。会員諸兄のご協力をお願いする次第です。

* * *

秋に予定されていた公開シンポジウムは、講師との交渉が難行しているうちに時期を逸し、実現することができませんでした。来年度は準備を周到にし、是非とも開催にこぎつきたいと考えています。

例会は11月と12月に行いました。いずれにおいても、研究発表に続いて参加者による活発な討論がなされました。やはり昨年度から再開された例会も、毎回、会員の研究発表、相互批判の場としての機能を一応は果しているように思われます。唯一つ残念なことには、参加者が発表者と同じ専攻に片寄りすぎているようです。いくつかの個別専攻の集合になってしまったかにみえる「哲学」に、包括的な視点を与えるべく、会員諸兄の積極的な参加に期待します。

* * *

今回の「編集後記」は幹事からのお願いのようになってしまいましたが、機関誌、例会など会の運営についてのご意見ご批判がございましたら幹事までお寄せ下さい。4月までは佐野勝男幹事長の下に、小林ポオル（主に「庶務」を担当）、南隆男（主に「渉外」を担当）、西脇与作（主に「会計」を担当）、樽井正義（主に「編集」を担当）の4名がその任に当たっています。

《樽井正義》